

第2回例会 一般質問から



会派清新
柴田 文男

高等看護学院の今後について

質問 市の財政健全化は急務。今後の市立病院の経営状況次第では、市の財政健全化計画の見直しに十分なやりかねない。一般会計からの持ち出しが交付税措置を除き、5、000万円以上とも言われる高等看護学院の運営についても人材確保の観点から根本的な見直しが必要である。これ以上の病院への繰り出しが発生する前に今後の適切なあり方を検討すべきと思うが、設置者である市長の考えを伺う。

答弁 市立病院経営と市の財政とは密接に結び付いており、市立病院の経営改善により市民の皆さんが安心できる地域医療の提供を持続可能なものになければなりません。現在、市立病院改革プランの策定に向けた取り組みが進められており、市と連携して経営改善

に努めます。看護師の確保策の一つである高等看護学院の運営については、市立病院の経営改善にも関わる重要な課題であり、看護師などの労働環境の改善などを含め、幅広い観点で市立病院と協議し、検討していきたいと思えます。

市営球場の改修について

質問 市営球場は、幅広い年齢層の市民が活発に利用し、地域のみならず全道・全国の大会をも招致する中心的な施設だが、老朽化が激しく、特にグラウンドの暗きよは水はけが悪く、全道大会をはじめとする各種大会の運営に大きな支障を与えている。市営球場の改修、改善について市の考えを伺う。

答弁 市営球場は、暗きよの老朽化により雨天時の利用に大変不便をおかけしています。また、抜本的な改修をしていないことからグラウンド内に段差が生じ、競技中の転倒などの危険性が高いとの指摘もあります。屋外スポーツ施設の改修は、大きな支障や危険性のある施設について、改修の時期、財源なども含め、年内には一定の方向性を示したいと思えます。



会派清新
関藤 龍也

小学校の英語教育について

質問 小学校英語教育の必修化と教科化に対する教員の指導体制について伺う。

答弁 小学校3、4年生が必修化となることから、現在5、6年生で行われている指導体制と同様の形で、文部科学省から無償配布される教材を使用することで、学校の格差が生じないように指導を行ってまいります。5、6年生については教科化されることから、高度な英語指導力を備えた人材の確保が課題とされ、英語指導の特別免許の創設や英語指導力向上研修などの充実策が検討されており、今後、国や道からの情報を捉え、指導体制の整備に努めます。

質問 学校間における指導力の格差が生じないように、ALT（外国語指導助手）の受け入れ担当の教員や指導方法の計画などを立てる専属の指導者を各小学校に配置することはできないのか伺う。

18歳以上の選挙権に対する教育の取り組みについて

答弁 現状では、管理職および教務主任などがALTの受け入れ窓口になっており、指導方法などについては、基本的に学級担任が計画を立てALTと相談しながら進めています。将来的なことも見据えながら、国や道の状況も踏まえて対応していきたいと思えます。

質問 18歳以上の選挙権に対する学校現場における取り組みについて伺う。例えば、授業の一環として議会の傍聴などの機会を作ることとはできないのか。

答弁 滝川西高では、選挙管理委員会の協力の下、模擬投票を行うなど、選挙の意義について理解を深めています。今後も総務省、文部科学省が配布した学習用副教材を活用し、指導に努めます。

また、中学生については、地方自治の学習をしています。単に知識として習得するだけでなく、具体的に体験できる議会傍聴などは大変意義があると考えますが、授業の進捗など学校と相談しながら検討していきます。